

(2026年4月21日発表)

駿府楽市 特別展示「春のアクセサリ展」

静岡の伝統工芸「するがまさえ駿河蒔絵」の作品を中心にさまざまな手作りアクセサリを展示します。

【趣旨・背景】

蒔絵は、静岡の伝統工芸品のひとつで、漆器の表面の絵柄に金属粉を蒔き装飾を加える技法です。駿河の蒔絵の始まりは江戸時代後期文政の頃と伝えられており、約200年もの歴史をもっています。今回の展示会では、この蒔絵の技法を生かした色とりどりの髪飾りやイヤリング、ブローチなどをはじめ、とんぼ玉(ガラス)のネックレスなどさまざまな手作りのアクセサリ製品を特集し、展示紹介します。

【期間・会場】

2026年4月25日(土)～5月10日(日) 9時から21時(最終日は17時まで)
JR静岡駅構内 ASTY 静岡西館「駿府楽市」(葵区黒金町47)

【出品作品】

髪飾り、ピアス、イヤリング、ブローチ、ネックレスなどアクセサリ製品
約150点を出品予定

主催 静岡蒔絵組合

【市HP】

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2746/s013161.html>

【問い合わせ先】

駿府楽市 担当:青木、高須 電話:054-251-1147

経済局 産業振興課 地場産業係(ツインメッセ) 担当:南部、片山 電話:054-281-2100